



イノチ診断室からの 病害虫情報

2019年
12月号



この時期も**青枯病**の罹病株が持ち込まれています！※
今後も発生にご注意ください。

※11/1～11/28までに3件の持ち込み



トマト青枯病菌泥流下
(点線内の白いモヤのようなもの)



トマト青枯病圃場の様子

病原菌	<i>Ralstonia solanacearum</i> (細菌)
症状	株の萎れ・導管褐変・菌泥流下 など
対象作物	ナス科・イチゴ・インゲン・ダイコン・花き類等を侵す多犯性の土壌病害
多発条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去の発病圃場 (土壌・培地中の残渣に菌が生存) ▶ 地温の上昇(20℃以上で発病) ▶ 排水不良
対策	被害株の圃場外への除去・処分 (残渣より感染拡大の危険) 太陽熱や土壌くん蒸剤による土壌消毒(クロルピクリンくん蒸剤・バスアミド微粒剤) 排水対策・センチュウ防除 耐病性の台木を用いた接木栽培 芽かきや収穫など管理作業時に使用した刃物の消毒

※農薬はラベルを確認後
ご使用ください。

気象庁 1か月予報

気温：高め 降水量：多い 日照時間：少ない



今冬は平年より気温が高いため、青枯病が発病する危険性がまだあります。
今後も上記対策などで予防に努めることをお勧めします。
植物の病害は予防防除の継続が多発回避の要です。